

第1回 (7/9号)

水稻病虫害発生予察の結果について

今年も水稻の発生予察を行います。毎週火曜に巡回し、各地区の予察圃場を調査していきます。個人の圃場とは誤差もあると思いますが、管理の参考にして下さい。

① 生育状況

生育状況は、どの地区も概ね順調に生育しております。韮山地区、長岡地区の江間は分けつ12~15本前後、長岡地区天野、大仁地区の白山堂でも14~16本程度になっていました。長岡地区の小坂、大仁地区の神島では20本程度と中干し適期となってきました。大仁地区の田原野、浮橋では中干しに入っている圃場もみられました。

② 病虫害状況

今回の予察では、ウンカ類及びヨコバイ類の発生はほとんど確認されませんでした。ジャンボタニシの発生が拡大しており、予察の調査地区でも韮山地区の原木、寺家、大仁地区の神島で発生が確認されました。

ピンクの卵が見られた際には捕殺し、下記の薬剤等で成貝の数を減らす対策を検討下さい。※卵には毒(成貝には寄生虫)があるので、素手で触れないようにして下さい。

○スクミノン粒剤(殺虫剤) 1~4kg/10 a 3,200/1袋(2kg)

※湛水状態で散布。散布後7日は落水しない

③ その他

ケイ酸カリの施用時期にかかる圃場があります。下記の施用基準を参考に施肥を検討して下さい。ケイ酸カリは倒伏防止や食味向上の効果が期待できます。

○ケイ酸カリ 20~40kg/10 a 3,010円/1袋(20kg)

※出穂35~45日前が効果的。(中干しの1週間前が目安。)

問い合わせ：韮山営農経済センター 勝又 055-949-0055

※JAふじ伊豆ホームページでも確認頂けます。

※FM伊豆の国でも朝・昼放送を開始しております。